

ヴェーダ

V E D A

地域の皆さん向けの広報誌

基本理念

- ・信頼される病院
- ・ころあたたまる病院
- ・地域に開かれた病院
- ・常に向上心をもって働く病院

基本方針

- ・患者中心の医療と権利の尊重
- ・高度・特殊医療、救急医療、へき地医療等の充実
- ・地域の医療、保健、福祉との連携推進
- ・患者サービスの向上と安心感の確保

ご挨拶と新年度の言葉

4月には若く、はつらつとした新職員が入ってくれました。小松市民病院では、年々、各部署で業務量が増加し、ひと際忙しくなっております。新職員の加入はこの上ない力となってくれると確信しています。

ところで、4月1日から緩和ケア病棟がオープンいたしました。がんの早期発見、手術、抗がん剤治療、放射線治療、緩和医療まで、一貫したがん診療ができるようになりました。緩和ケア病棟では症状を緩和するだけでなく、精神的な悩みなど、さまざまな悩みを緩和することを目的としています。

小松市民病院ではがんのみならず、救急医療、生活習慣病にも力を注いでいます。どの分野も最新治療を行う所存です。また、地域の医療機関との連携にも努めています。特に循環器や糖尿病疾患では、他の診療所や訪問看護ステーションとの連携を目的としたパスという治療経過が分かるような用紙を作って成果をあげています。

一方、医療を支える職員が満足できる環境で仕事ができるように配慮したいと思っています。そのためには各部署間の連携や、他部署に対する思いやりが大切です。その結果として、心に余裕ができれば、より一層患者さんのケアに力を注ぐことができます。

今後も市民の皆さんに安心と信頼の医療を提供すると同時に、職員を温かく見守り、大きく飛躍できる環境を作りたいと思っています。

小松市民病院長 川浦 幸光

新型インフルエンザ対応について 院内研修を行いました

当院は南加賀地域の中核病院として多くの機能を有しており、第二種感染症指定医療機関に指定されています。

今回の新型インフルエンザの対応に関しては、全職員を対象に5月1日研修会を行いました。

いざという時の対応が迅速に行われるように医師、看護師がマスク・ゴーグル・防御服を実際に着用しました。多くの職員が参加し、入院の必要がある患者さんが発生した場合の現場での対応等、緊迫感あふれる内容の研修となりました。



大腿骨頸部骨折について

■ 大腿骨頸部骨折とは ■

大腿骨頸部

太ももの骨（大腿骨）の上端を骨頭といいます。骨頭は骨盤のくぼみにはまり込み、股関節を形作っています。

大腿骨頸部とは、丸い骨頭の下部分の部分をいいます。

大腿骨頸部が折れると

大腿骨頸部にひびが入ったり折れたり（骨折）すると、痛みがでて歩くことができなくなります。

大腿骨頸部骨折は年配の方に多い骨折です。骨折などで、身体を動かさなくなると、身体の筋肉が衰えて、寝たきりや肺炎、痴呆の原因になります。

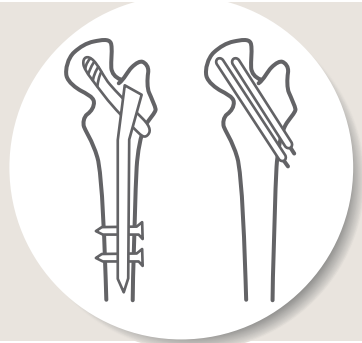
骨折の型の分類



■ 骨接合術とは ■

骨折部を骨接合材で固定すると早目にリハビリテーションをすることができます。

使用する骨接合材は、骨折の場所や折れ方で使う種類がことなります。



■ 人工骨頭置換術とは ■

手術には、骨接合術の他に人工骨頭置換術があります。骨折の型、患者さんの年齢や全身の状態を考えて、手術の方法を選びます。

人工骨頭置換術は、折れている骨（骨頭）を取りのぞいて人工物でできた骨頭に置きかえる手術です。



人工骨頭は、金属やセラミック（陶器）、プラスチック（超高分子ポリエチレン）などが組み合わさってできています。

人工物を太ももの骨に固定するとき、骨セメントを使用する場合があります。骨セメントは、歯の治療でも使われています。

当科では平成20年度に、骨接合術30例、人工骨頭置換術20を行い、早期リハビリテーションを行っています。

病院探検 救急医療室の現状

救急医療は、便宜上一次、二次、三次医療に分けられており、それぞれ、簡単な処置や薬の処方だけで帰宅できる状態、入院を要するが生命に関わらない状態、生命に直接関わる状態と大まかに定義されています。救急医療を行う病院は、この区分を当てはめて一次病院、二次病院などといわれており、TVでよく耳にする救命病棟24時とかは、三次救急を担う専門の病院の話です。これは、設備やスタッフなどの医療資源を有効に無駄なく提供できるようにと考えられたものです。各都道府県の地域ごとにそれぞれの病院が指定されています。

当院は、南加賀地域における二次病院として救急医療を担当します。当院の救急医療室は、病院夜間出入口の横に位置しており、内科系医師1人と外科系医師1人が宿直し、受診患者に対応し、必要があれば、各科の専門医が診察できるようにオンコール体制をしいています。一般的に、救急外来を受診する患者さんの8割から9割が処置後帰宅可能な一次救急といわれています。二次病院である当院でも同様に、多くの一次救急の患者さんの中に、重症の二次、三次の救急患者さんが紛れ込んでいるといった状態です。この状態は、患者さんが自分の病状を何次医療の状態なのか正確に判断できるはずもなく、ある意味当然の結果だと考えられます。しかし、夜間診療を行わない病院の増加や救急外来のコンビニ化現象などの影響もあり、当院の受診患者の増加は程度を超え、平成18年には15,834人に達しました。1日平均40人以上です。当然のことながら、待ち時間の延長、救急車受け入れによるさらなる混雑、医療スタッフの疲弊が認められ、通常業務に影響が出かねない状況になりました。

このような綱渡り的な状況の打開と新たな救急医療体制の構築が求められる中、新病棟増築に際し、地元医師会の協力もあり、南加賀急病センターが併設され、平成19年4月から本格稼働しました。センターでは指定された時間帯に、内科医1人と小児科医1人を配置しており、入院が必要であったり、専門医の診察が必要と考えられる症例は直ちに当院の救急外来に連絡、紹介されるシステムとなりました。これによって、当院の救急受診患者は減少（平成19年度11,834人、20年度10,755人）し、そのおかげで、当院における重症患者に対する素早い対応が可能となり、救急車対応の可能性を拡げることになったというのが現在の状況です。

救急医療には、限りある設備やスタッフという医療資源を有効に無駄なく活用し、長続きするシステムが必要です。当院も、南加賀急病センターや地域の医師会と協力し、よりよいシステムで地域のみなさまに救急医療を提供できればと考えています。

南加賀急病センターの診療時間をお知らせします。

《診療科》小児科・内科

《診療時間》月～土：午後7時～午後10時30分

日・祝日：午前9時～午後0時

午後1時～午後10時30分

《電話番号》0761-23-0099



頭頸部領域のがん治療について

「第2回 医科・歯科合同地域医療連携講演会」
開催される

主催：小松市民病院（地域がん診療連携拠点病院）

対象地区：小松市、加賀市、能美市、（金沢市）

平成21年4月11日（土）午後7時15分から市内のホテル（サンルート小松）において医師・歯科医師を主体とした講演会が開催されました。昨年に引き続き、頭頸部領域のがん治療について地域がん診療連携を目的とした講演が行われました。

田中眞也先生が、当院口腔外科に年間約1,000人以上の紹介を医科歯科126施設から頂いた御礼と講演会についての挨拶をしました。

特別講演は、「**口腔がんの診断・治療の変遷と今後の課題**」という幅広いテーマで小村 健先生（東京医科歯科大学大学院教授）が最新の研究結果も踏まえて講演されました。その内容を一部抜粋します。

**口腔がんの診断は、**

確定診断には病理組織診を必要とする。組織診からは、さらに治療法の選択や予後の推測がなされる。

口腔がんの治療は、

最近では超選択的動注が注目されている。また進行癌に対する術後補助化学療法が再発・転移の防止に有効であることも明らかになりつつある。手術療法においても、低侵襲手術、個別化治療が試みられ、QOLのさらなる向上が期待されている。

当日は、快晴。兼六園や芦城公園の桜が満開で「夜桜」日和にも関わらず、医師、歯科医師、看護師、理学療法士、衛生士など約60名の参加があり、講演後には活発な質疑応答を行いました。



病院探検 治験審査委員会

「くすり」が誕生するまで ～ひとつのくすりが誕生するまでにはいくつもの段階を踏まなくてはなりません～

1. 基礎研究～くすりのもとと発見～
まず、製薬会社の研究者や医師が「病気の原因」について詳しく研究し、「くすりのもと」となりそうな物質を探します。
2. 非臨床研究～動物で試験～
様々な実験で選別された「くすりのもと」は、動物を対象にどんな作用があるかを慎重に検討するための試験をします。試験の結果、病気に対しての効果が期待でき、大きな副作用がないと確認された「くすりのもと」は「くすりの候補」となります。
3. 人で実際に使ってみる～治験～
ここでいよいよ「くすりの候補」が人に使われます。「くすりの候補」が「くすり」となるためには、どうしても人において効き目（有効性）や副作用（安全性）を調べなくてはなりません。
4. 承認申請
これらの試験結果はまとめて国（厚生労働省）に提出され、「くすり」として役立つがどうか審査を受けます。
5. くすりの誕生
このようにたくさんの研究とたくさんの協力（治験）を経て、ようやく「くすり」として使用することができます。
6. 製造販売後調査
「くすり」が販売された後は、さらに実際に多くの患者さんに使われた場合の効果や安全性、今まで得られなかった副作用などを調べます。

治験とは…

人での有効性や安全性について調べることを「臨床試験」といいます。その中でも、国（厚生労働省）から「くすり」として認めてもらうために行われる試験のことを「治験」といいます。「治験」は3つの段階（第Ⅰ相、第Ⅱ相、第Ⅲ相）に分けて慎重に進められます。

1. 第Ⅰ相～健康な人で～
主に健康な成人を対象に、ごく少量の「くすりの候補」から使い始め、徐々に量を増やしていき、副作用について注意深く調べます。また、「くすりの候補」が、体の中でどのくらいの速さで吸収され、どのような作用を示し、そしてどのくらいの時間で体外に排泄されるかも確認します。
2. 第Ⅱ相～少数の患者さんで～
次に少数の患者さんを対象に、「くすりの候補」の効き目（有効性）、副作用（安全性）と共に、効果的な使い方（量、間隔、期間）について調べます。
3. 第Ⅲ相～多数の患者さんで～
最後に、これまでに得られた結果で見られた「くすりの候補」の効き目（有効性）、副作用（安全性）が多数の患者さんにも当てはまるかどうかを最終確認します。また、「くすりの候補」によっては、すでに使われているくすりと比較し、より効果が期待できるのか、副作用が少ないかどうかや、長期間使用した時の効き目（有効性）や副作用（安全性）についても確認します。

治験実施のルール

「くすりの候補」の人における有効性と安全性を調べる治験は、科学的な方法で、参加される方の人権と安全を最優先にして行われます。そのために、治験を行う製薬企業、医療機関、医師はくすり全般に関する法律である「薬事法」と、これに基づいて厚生労働省が定めた「医薬品の臨床試験の実施の基準に関する省令」（GCP: Good Clinical Practiceの略）という規則を守らなければならない、主に以下のことが定められています。

- ◇治験の内容を国に届け出ること
- ◇「治験審査委員会※」にて治験の内容をあらかじめ審査すること
- ◇同意が得られた者のみを治験に参加させること
- ◇重大な副作用は国に報告すること
- ◇製薬会社は治験が適正に行われているか確認すること

治験ではこのように定められたルールを遵守し、被験者の人権や安全を守りながら治験の質と信頼性の高いデータを確保することが重要視されます。

※**治験審査委員会**…医学・薬学・薬学などの専門家およびそれ以外の者によって構成される医療機関の長、治験責任医師および治験依頼者から独立した委員会を指します。治験審査委員会の責務は、特に、治験実施計画書並びに被験者からインフォームド・コンセント（説明と同意）を得る際に使用される説明文書などを審査し、また治験開始後も継続的に審査を行うことによって、被験者の人権、安全および福祉の保護をすることです。

当院では現在、関節リウマチ、狭心症・心筋梗塞、帯状疱疹後神経痛、変形性関節症・腰痛症、股関節骨折手術、人工膝関節置換術、糖尿病の治験に参加していただける方を募集しています。参加できる方には条件がありますが、詳しくお知りになりたい方は、外来診療科または治験事務局までお問い合わせください。

また、小松市民病院治験審査委員会については小松市民病院のホームページでも紹介していますので、どうぞご覧ください。

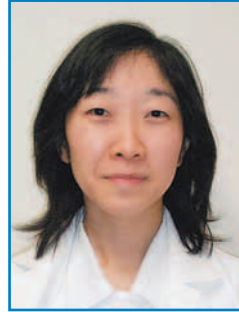
新任医師 の 紹介

1. 専門分野、得意分野
2. 認定医・専門分野
3. 今後の抱負
4. 趣味その他



ごとう よしのり
後藤 善則

1. 内科、消化器内科
2. なし
3. 地域に貢献できるよう頑張ります



たかた むつこ
高田 睦子

1. 内科、循環器、動脈硬化
2. 日本内科学会認定医
循環器専門医
3. 地域医療に邁進したいと思っています



おかもと たけし
岡本 猛

1. 精神科、精神科一般
2. 精神保健指定医、精神科専門医
3. 地域に貢献できるよう、一生懸命がんばります
4. キャッチボール、野球



おおつき さち
大月 幸

1. 小児神経科
2. なし
3. 常に我が子に接する気持ちで子どもたちの治療にあたりたい
4. 読書、野球観戦



さかい さとこ
酒井 智子

1. 内科、内分泌代謝疾患
2. 内科認定医



おかざき あきひと
岡崎 彰仁

1. 内科、呼吸器疾患
2. 呼吸器一般
3. 南加賀のお役に立てるよう頑張ります
4. 旅行、ドライブ



こじま まさつぐ
小島 正継

1. 外科
2. なし
3. 滋賀より来ました。よろしくお願い致します
4. 読書



きたもと えいこ
北本 英子

1. 研修医
2. なし
3. 地域医療特有の経験がたくさんできたらと思います。よろしく申し上げます。
4. 旅行、写真鑑賞

新任技師 の 紹介



薬剤師
若林 広樹



ソーシャルワーカー
津田 奈々子

新任看護師 の 紹介



川田有里子



西 克



北川絵理



西野博充



道端かおり



山田沙耶花



橋本真衣



西 陽子



室谷千美



墨屋美咲



井上智未



畦地芽実



中出智亜紀



佐々木梨沙



清水可菜子



宮本真由美

topics トピックス

国民健康保険 小松市民病院改革プラン

小松市民病院では、「国民健康保険小松市民病院改革プラン」を策定しました。改革プランの策定にあたり今後の病院の方向性を明確にするとともに、公立病院としての果たすべき役割についても検討を行いました。



「改革プラン」は小松市民病院ホームページ <http://www.hosp.komatsu.ishikawa.jp/> で公開しています。今後も継続的かつ安定的に地域社会への医療提供体制を確保していくため、地域の皆様にも小松市民病院のあり方を知っていただきたいと思っております。

topics トピックス

色とりどりの花が、心を和ませました — いけばなこども教室 —

華道家元池坊小松支部の「いけばなこども教室」の展示が3月23日から、2回に分けて展示されました。子ども達18人は前日から展示に向け熱心に準備に取り組んでいました。ガーベラ、カーネーションと色とりどりの花がかわいらしく活けられ、病院を訪れた方の目を楽しませていました。



インフルエンザ菌予防

一生後2ヶ月からの
「インフルエンザ菌b型ワクチン」の接種をおすすめします—

インフルエンザ菌(インフルエンザウイルスとは異なります)は、3歳以下の乳児に髄膜炎、肺炎、急性咽頭炎などの重篤な感染症をおこします。特にインフルエンザ菌性髄膜炎では毎年40人くらいの子どもの命が奪われています。この髄膜炎は病気の始まりを見つけることがまだ完全でなく、そのために治療が遅れてしまう場合があります。予防接種による予防が何よりも効果的です。

すでに世界各国で予防接種が実施され、劇的な効果を上げています。日本でもようやく2008年12月より任意接種が可能となりました。

接種スケジュールは下記のようになり3種混合(DPT)ワクチンと同時に接種するのがよいと思います。

① 接種開始年齢 2ヶ月齢以上7ヶ月齢未満の場合

初回免疫：通常、3回、いずれも4～8週間の間隔で皮下に注射します

追加免疫：通常、初回免疫後おおむね1年の間隔をおいて、1回皮下に注射します

② 接種開始年齢 7ヶ月以上12ヶ月齢未満の場合

初回免疫：通常、2回、いずれも4～8週間の間隔で皮下に注射します

追加免疫：通常、初回免疫後おおむね1年の間隔をおいて、1回皮下に注射します

③ 接種開始年齢 1歳以上5歳未満の場合

通常、1回皮下に注射します

費用は任意接種ですので1回7,000円前後になります。

現在のところ予約制になっていますので、希望される方はご相談下さい。

小児科Q&AときどきA&Qは
今回はお休みです

小松市民病院 小児科

topics
トピックス

患者さんのお世話を体験しました — ふれあい看護体験 —

5月12日、「看護の日」にちなみ、小松市内に通う高校生が看護師の仕事を体験しました。

洗髪や車いすの介助など初めて経験し「たいへんだけどやりがいのある仕事だと思いました。」と、患者さんの笑顔に触れ、看護師の職業への理解を深めました。



編・集・後・記

100年に1度の不況と言われている中でも、元気な会社は数多くあります。その一つである「ユニクロ」の社長は、「自己研鑽・自己革新しなければ成長はない」という危機意識の共有が好業績に繋がっていると話していました。小松市民病院も現状に満足することなく、「自己研鑽・自己革新」を行い医療水準の向上により小松市民の安全を守っていきたいと思います。



国民健康保険 小松市民病院

〒923-8560 石川県小松市向本折町ホ60
TEL(0761)22-7111(代) FAX(0761)21-7155
URL <http://www.hosp.komatsu.ishikawa.jp/>
E-mail cbsomu@city.komatsu.ishikawa.jp